

第 41 期第 5 回理事会議事録

日 時：2020 年 11 月 10 日（火） 13 時 00 分～17 時 15 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議）

出席理事：佐藤薫，橋田俊彦，青柳曉典，池上雅明，植田宏昭，榎本剛，小池真，
齋藤篤思，佐藤正樹，竹見哲也，坪木和久，中村尚，橋本明弘，早坂忠裕，平松信昭，
廣岡俊彦，堀之内武，三好建正，渡部雅浩，以上 19 名（理事数現在 20 名）

出席監事：鈴木靖

その他の出席者：勝山税，志村隆，横手嘉二（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会 31，退会 14 を全会一致で承認した。2020 年 11 月 6 日現在，会員数 3,332 名で
個人会員は 3,132 名。

2) 第 41 期第 4 回理事会議事録の確認

全会一致で承認した。

3) 2021 年春季大会の開催に関する提言（ウィズ/ポスト・コロナ時代の大会のあり方検討 WG）

大ホールで行う行事（総会，理事長挨拶，授賞式・受賞記念講演，シンポジウム）は現
地開催に，専門分科会および一般セッション（口頭，オンデマンド講演）はオンライン
開催とするハイブリッド方式が提言され，全会一致で承認した。

4) 基本財産（一部）の運用満期に伴う今後の対応について

満期を迎えた基本財産の運用について，近年の超低金利状況，財政収支の赤字基調での
経過に留意して，十年満期の公債での運用のほか，一部は定期貯金で運用する提案があ
り，全会一致で承認した。

5) 声明等の取り扱いについて（理事会申合事項）の一部改正について

日本学術会議第 25 期推薦会員任命拒否に関する関係学協会からの緊急声明のように，声
明への参加の呼びかけに賛同するような場合，声明等の取り扱いの理事会申合事項（平
成 25 年 4 月 10 日）にどのように位置づけるかについて協議を行い，さらに検討するこ
ととして継続審議とした。

2. 報告事項

1) 業務執行理事の報告

庶務担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・転載許可

申請者：気象庁大気海洋部気象リスク対策課気候変動対策推進室長

転載元：Mizuta, R., O. Arakawa, T. Ose, S. Kusunoki, H. Endo, and A. Kitoh 2014.

Classification of CMIP5 future climate responses by the tropical sea surface temperature changes. SOLA, 10, 167-172. [Fig.2]

転載先：気候変動評価レポート 2020（仮称）（2020 年秋発刊予定）

- ・後援名義等使用依頼受付

①名称：第 58 回アイソトープ・放射線研究発表会

主催：公益社団法人日本アイソトープ協会

期日：2021 年 7 月頃

場所：オンライン開催又は首都圏会場開催

名義：協賛

会計担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・2020 年 9, 10 月分の収支及び現預金検査報告。
- ・第 7 回気象学史研究会（2020 年 8 月 22 日開催）の実施報告が気象学史研究連絡会代表世話人から佐藤理事長へ提出された。

企画調整担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・学会 HP に委員会委員名簿を掲載した。
- ・12 月 1 日に事務局を気象庁新庁舎（虎ノ門）10 階に移転する。

2) 委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

- ・2020 年秋季大会の実施報告。初めてのオンライン開催になった。無事に開催できたことに関係の皆様へ感謝申し上げる。口頭セッションは問題なく実施できた。座長とホスト担当者の経験と機転によるところが大きい。ノウハウの共有が必要。問い合わせ対応については負荷分散が必要。
- ・2021 年春季大会について、7 件の専門分科会の申込があった。
- ・日本地球惑星科学連合 2021 年大会における主催・共催セッションの応募状況について、共催 9 件の申込があった。

天気編集・・・以下の内容が報告された。

- ・Vol.67 No.10, 11, 12 (2020 年 10, 11, 12 月)の掲載記事と、Vol. 68 No.1 (2021 年 1 月)の予定記事の報告。
- ・Google Workplace 機能を用いた Google ドライブへの「天気」統合 PDF の学会員向限定公開を 10 月 13 日から開始した。合わせて、冊子体不要会員の募集を実施した。11 月 8 日までに 144 名の申込があった。引き続き募集を継続する。

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

- ・論文の査読状況。
- ・J-STAGE のパイロット事業として、論文執筆に用いたデータをエビデンスとして保存できるアーカイブ事業を開始したので利用して欲しい（現在は無料）。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された。

- ・論文の投稿・公開状況。

- ・2020年9～10月の掲載論文.

気象研究ノート・・・以下の内容が報告された.

- ・「竜巻」出版準備中.

表彰関連・・・以下の内容が報告された.

- ・2020年秋季大会における「松野賞」受賞候補者の選定結果の報告があり、全会一致で承認された.

気象災害・・・以下の内容が報告された.

- ・第11回防災学術連携シンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから～58学会、防災学術連携体の活動～」(日本学術会議・防災学術連携体共催 2021年1月14日開催予定)において、39の関係学会から講演があり、気象学会からは「原子力関連施設事故に伴う放射性物質の拡散監視・予測技術の強化に向けて」と題する講演を予定.

気象研究コンソーシアム・・・以下の内容が報告された

- ・2021年春季大会の専門分科会で「気象庁データを利用した気象研究の現状と展望」と題して議論を行う.

教育と普及・・・以下の内容が報告された.

- ・夏季大学の会計収支報告. 来年のテーマは海洋関係とする.
- ・気象サイエンスカフェを11月7日にZoomによるオンラインで開催した.
- ・来年度のジュニアセッションはオンライン開催で、春季大会のシステムの中で開催する(2021年5月18日～21日).

国際学術・・・以下の内容が報告された.

- ・2021年春季大会において第3回小倉特別講義を予定していたが、開催を1年延期し、2022年春季大会で実施することが提案され、全会一致で承認された.

電子情報・・・以下の内容が報告された.

- ・秋季大会に関連して、Google Workspace (G Suite) のアカウント作成やリセット対応をした.
- ・会員の情報交換のための Google グループ oshirase, oshiete, koubo を作成した. スパム対策のため、学会の Google Workspace アカウントから投稿する必要がある.

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された.

- ・保育支援ガイドラインを Web に掲載した.
- ・人材育成・男女共同参画委員会の英語サイトを準備中.
- ・秋季大会において会員相互のコミュニケーション促進のため、オンラインツールを用いて中手会を実施した.

3) 財政改善検討 WG 報告

検討中の財政の現況資料について報告があった. 次回理事会に中間報告を提出予定.

4) 理事長報告

- ・日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する関係学協会からの緊急声明への参加の呼

びかけへの対応の概要について説明があった。

- ・理事会を緊急に開催する場合の連絡・確認方法について提案があり、了解された。

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2020 年 11 月 27 日

公益社団法人日本気象学会

理事長 佐藤 薫

監事 鈴木 靖

監事 吉田 聡